

令和6年5月28日

荒海小中学校PTA会員 各位

南会津町立荒海中学校PTA会長 渡部 翔大

// 校長 田代 茂

南会津町立荒海小学校PTA会長 廣野 真和

// 校長 星 英典

竹下和男氏「子どもが作る“弁当の日”」講演会のご案内

向暑の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より小中学校の教育活動へのご協力とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、この度（株）リオン・ドール コーポレーションのご協力をいただき「子どもが作る“弁当の日”」提唱者の竹下和男先生による食育講演会を開催いたします。

この会を通して、人に喜ばれることをうれしく思ったり、身近な家族や地域に感謝したりする気持ちを育むことがでることと思います。

つきましては保護者の皆様にも参加していただきたく、以下のご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和6年 6月 28日（金） 10:30 ～ 12:00
- 2 対 象 荒海小学校6年生、荒海中学校全生徒（計39名）及び小中学校 PTA 会員等
- 3 場 所 荒海中学校 2階 ななもりホール
- 4 講演者 「子どもが作る“弁当の日”」提唱者 竹下 和男 氏 （講師紹介は裏面をご覧ください）
- 5 演 題 「ヒトは食により人になる」
- 6 日 程
 - 保護者受付 <荒海中学校 保護者玄関> 10:10 ～
 - 講 演 <ななもりホール> 10:30 ～12:00 (講師紹介、講演後の質問・感想含む)
- 7 その他
 - この講演をもとに小学校は9月30日（月）、中学校は10月19日（土）〔文化祭当日〕に「子どもが作る“弁当の日”」を実施します。
 - 当日の駐車場は、中学校駐車場、小学校駐車場あるいは改善センターご利用ください。

（事務担当：荒海小学校 教頭 折笠 哲也 66-2109）

【講師紹介】

「子どもが作る“弁当の日”」提唱者

竹下 和男 氏

香川県内の小中学校教員 19年

香川県教育行政職 9年

2000年度から綾川町立滝宮小学校 校長

2003年度から高松市立国分寺中学校 校長

2008年度から綾川町立綾上中学校 校長

2011年度からオフィス弁当の日設立、フリーで執筆・講演活動



子どもたちの生きている時間の中で、学校や塾等での「まなびの時間」が増加する一方、生きていくための基本的な衣食住に関する「くらしの時間」が減少していることを課題と考え、親は手伝わないで「献立－買い出し－調理－弁当箱詰め－片付け」までのすべてを子どもが一人でする「子どもが作る弁当の日」をスタートさせた。

学校で自作の弁当を見せ合う笑顔の子どもたちの様子はTVや新聞等に取り上げられ、食べることが「命のバトンリレー」であり、食（弁当）を通して想像力が培われ、感性が磨かれ、人に喜ばれることをうれしいと知り、ものごとを感謝とともに受け止められることを学ぶ、優れた教育実践として評価され、現在、全国約2,000校以上に広まっている。全国を回って食育だけでなく、人としての生き方を分かりやすく子どもたちに伝える講演活動には定評があり、著書多数。

昨年度、第47回南会津郡PTA連合研究大会（御蔵入交流館）でも講演していただいた。

《主な著書》

『日本アンソロジー・安藤昌益』（光芒社・共著）2002 年

『“弁当の日”がやってきた』（自然食通信社・共著）2003 年

『台所に立つ子どもたち』（自然食通信社・共著）2006 年

『始めませんか 子どもがつくる“弁当の日”』（自然食通信社・共著）2009 年

『泣きみそ校長と弁当の日』（西日本新聞社・共著）2010 年

『一年生からお弁当を作ろう』（共同通信社・監修）2012 年

『弁当づくりで身につく力』（講談社）2012 年

絵本『“弁当の日”がやってきた』（河出書房新社・原作）2015 年

『100 年未来の家族へ』（自然食通信社）2019 年 他多数

《教育実践としての受賞》

2003年 地域に根ざした食育コンクール 農林水産大臣賞

2014年 第8回 キッズデザイン賞 消費者担当大臣賞 など

